

サポーター

2014/10/12

シリーズ～コロサイの信徒への手紙～

コロサイの信徒への手紙4章10～14節

わたしと一緒に捕らわれの身となっている**アリスタルコ**が、そしてバルナバのいとこ**マルコ**が、あなたがたによろしくと言っています。このマルコについては、もしそちらに行ったら迎えるようにとの指示を、あなたがたは受けているはずです。**ユストと呼ばれるイエス**も、よろしくと言っています。割礼を受けた者では、この三人だけが神の国のために共に働く者であり、わたしにとって慰めとなった人々です。

コロサイの信徒への手紙4章10～14節

あなたがたの一人、キリスト・イエスの僕**エパフラス**が、あなたがたによろしくと言っています。彼は、あなたがたが完全な者となり、神の御心をすべて確信しているようにと、いつもあなたがたのために熱心に祈っています。わたしは証言しますが、彼はあなたがたのため、またラオディキアとヒエラポリスの人々のために、非常に労苦しています。**愛する医者ルカ**と**デマス**も、あなたがたによろしくと言っています。

拘束中のパウロの同行者たち

- パウロは「捕らわれの身」でありながら、手紙によって牧会している
- ローマ(?)で拘束されているパウロには、少なくとも6人の同行者がいた
 - アリスタルコ・マルコ・イエス(ユスト)・ルカ・デマス
 - ティキコはコロサイ教会に派遣されていた
 - エパfrasはコロサイ教会から遣わされた人
- 彼らはどのような人たちだったのだろうか

アリストタルコ

- パウロの第3宣教旅行に同行したマケドニア人
- エフェソで起こった騒乱の時、パウロと一緒に捕まった
 - 「そして、町中が混乱してしまった。彼らは、パウロの同行者であるマケドニア人ガイオとアリストタルコを捕らえ、一団となって野外劇場になだれ込んだ。」使徒19:29
- パウロがローマに移送される際にも同行した
 - 「わたしたちは、アジア州沿岸の各地に寄港することになっている、アドラミティオン港の船に乗って出港した。テサロニケ出身のマケドニア人アリストタルコも一緒であった。」27:2

マルコ

- バルナバのいとこ
 - バルナバは12弟子ではないが、初代教会の中心人物
 - バルナバはレビ人であったのでマルコも祭司系？
- マルコの家はエルサレムにあり、弟子たちの集まる場所であった
 - 「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると…」使徒2:1
- イエス様に従っていたが、捕縛直後に逃亡
 - 「一人の若者が、素肌に亜麻布をまとってイエスについて来ていた。人々が捕らえようとする、と、亜麻布を捨てて裸で逃げてしまった。」＜マルコ14:51-52＞

マルコ

- 最初の宣教旅行の途中で帰ってしまった
 - 「パウロとその一行は、パフォスから船出してパンフィリア州のペルゲに来たが、ヨハネ(マルコ)は一行と別れてエルサレムに帰ってしまった。」使徒13:13
- マルコのせいでパウロとバルナバがケンカした
 - 「バルナバは、マルコと呼ばれるヨハネも連れて行きたいと思った。しかしパウロは、前にパンフィリア州で自分たちから離れ、宣教に一緒に行かなかったような者は、連れて行くべきでないと考えた。そこで、意見が激しく衝突し、彼らはついに別行動をとるようになって、バルナバはマルコを連れてキプロス島へ向かって船出した」15:37～

マルコ

- 詳しい経緯は不明だが、再びパウロに帯同
 - 「このマルコについては、もしそちらに行ったら迎えるようにとの指示を、あなたがたは受けているはずですよ。」4:10
- パウロは晩年、マルコを頼りにした
 - 「ルカだけがわたしのところにいます。マルコを連れて来てください。彼はわたしの務めをよく助けてくれるからです。」テモテ二4:11
 - エジプト最大の都市アレキサンドリアの教会の基礎を築き殉教した＜伝説＞

ユストと呼ばれるイエス

- 詳細不明

ルカ

- パウロの第二宣教旅行から帯同した
 - 「パウロがこの幻を見たとき、わたしたちはすぐにマケドニアへ向けて出発することにした。」16:10
- ローマ行きにも帯同している
 - 「わたしたちがイタリアへ向かって船出することになったとき…」27:1
- パウロに愛された医者であった
 - 「愛する医者ルカ」

ルカ

- 当時の医者は「奴隷出身」者が多かった
 - 病気の人に近づくことは大変危険だった
 - ルカ福音書では貧者を尊び、富者に警告を発する
- 病気がちであったパウロを支えた
 - 「肉体に一つのとげを与えられました。それは私が高ぶることのないように、私を打つための、サタンの使いです。」コリント二12:7
- ルカ福音書・使徒言行録の著者
 - 美しい文体と正確な記録
 - パウロの代筆者でもあったか？

デマス

- 後にパウロのもとを離れてしまった
 - 「デマスはこの世を愛し、わたしを見捨ててテサロニケに行ってしまい…」テモテ二4:10

パウロのサポーター

- 第二・三宣教旅行の時からパウロに同行している
 - パウロがエルサレム・カイサリアで監禁された時にも近くにいた
 - 難破しかけたローマ行きの船にも一緒に乗った
- 彼らは自分から進んでパウロと「一緒に捕らわれの身となっている」
 - パウロは一人で拘束されていたのではない！
- それぞれの賜物を生かしてパウロを支えた
 - 「奉仕の賜物を受けていれば、奉仕に専念しなさい。」
ローマ12:7